







尾崎沙羅	旧石器～縄文時代	① 経歴・職歴 2018.4 県立歴史と民俗の博物館(展示担当) 2020.4 教育局文化資源課(史跡・埋蔵文化財担当)
おざきさら	先史時代における 資源利用	② 過去の業務実績 2020年企画展「縄文時代のたべもの事情～埼玉にもいた！狩猟採集民～」
		③ 研究業績等 2017「北海道・後期旧石器時代における尖頭器生産と黒曜石原産地」考古学集刊13号 2019「更新世終末期の北海道における石器石材の獲得と消費—複数の石器群の比較を通して—」駿台史学165号 ④ メッセージ 先史時代の狩猟採集を営んでいた人々に興味があります。マイナーな時代ですが、太古の人々に興味を持って頂けるように日々努力いたします。


<p>君島 勝秀 きみじま かつひで</p>	<p>縄文時代</p>	<p>① 経歴・職歴 (財)埋蔵文化財調査事業団、文化財保護課、歴史資料館(嵐山史跡の博物館)、さきたま史跡の博物館、文化資源課、歴史と民俗の博物館、自然の博物館を経て、令和4年度より歴史と民俗の博物館</p>
	<p>縄文時代の 集落と生業</p>	<p>② 過去の業務実績 「五関中島遺跡」「滝の宮坂遺跡」「外東遺跡」「谷ツ遺跡」他 (埼玉県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告) 「後北条氏の城」(嵐山史跡の博物館企画展図録) 「稲荷山出現以前の古墳」「祈りとまじないの考古学」「原始古代の職人集団」 (さきたま史跡の博物館企画展図録)</p> <p>③ 研究業績等 「縄文時代早期後葉土器について」(歴史資料館研究紀要) 「赤城遺跡出土みみずく土偶の修復」(さきたま史跡の博物館紀要)</p> <p>④ メッセージ 令和4年度から歴史と民俗の博物館で企画担当、および学習支援担当を統括しています。研究分野では、縄文時代の集落における空間利用と生業との関係性について興味を持っています。</p>


<p>倉澤 麻由子 くらさわ まゆこ</p>	<p>縄文時代</p>	<p>①経歴・職歴 さきたま史跡の博物館 資料・展示担当、文化資源課史跡・埋蔵文化財担当、歴史と民俗の博物館企画担当を経て、令和4年度から再び文化資源課史跡・埋蔵文化財担当に着任しました。</p>
	<p>縄文時代の集落や土器の変遷</p>	<p>②過去の業務実績 テーマ展「縄文の不思議な世界」(さきたま史跡の博物館)</p> <p>③研究業績等 「旧長瀬総合博物館からの寄贈資料について—富山県朝日貝塚の骨角器—」(『県立史跡の博物館紀要』9)</p> <p>④今年度より文化資源課史跡・埋蔵文化財担当となりました。文化財の保護と活用について努めてまいります。個人的には縄文土器を通して地域間の交流や土器の変遷について学んでいます。</p>


<p>別所 鮎実 べっしょ あゆみ</p>	<p>縄文時代</p>	<p>プロフィール ①職歴 2020年度～さきたま史跡の博物館学芸員 資料・展示担当</p>
	<p>縄文土器型式土器 からみる縄文社会 先史文化</p>	<p>②過去の実績 2020年度最新出土品展「地中からのメッセージ」運営 2021年度最新出土品展「途中からのメッセージ」運営 2021年度最新出土品展関連講座「”地中からのメッセージ”を聴く」講師</p> <p>③著作・研究実績等 2019「縄文時代後期中葉における器種間関係からみた土器製作」『駿台史学』165号 2020「冬木A貝塚出土のオオツタノハ製貝輪—貝輪収納事例と派生する問題—」『埼玉考古』第55号（共著：栗島義明・別所鮎実） 2021「旧長瀬総合博物館所蔵資料目録—縄文土器・土製品—」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第14号（共著：野中 仁・別所鮎実） 2022「旧長瀬総合博物館所蔵資料における柴田常恵コレクションの検討」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第15号</p> <p>④メッセージ 資料・展示担当として、さまざまな資料、特に埼玉古墳群の魅力をお伝えできるよう、広い視野で学芸業務および個人研究に取り組んでいきたいと思っております。特に、博物館の収蔵資料の整理や活用に努めていきたいです。</p>


<p>村田 章人</p>	<p>縄文時代</p>	<p>① 経歴・職歴 (財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団派遣、文化財保護課、生涯学習課、桶川市派遣、生涯学習文化財課、平和資料館、さきたま史跡の博物館、歴史と民俗の博物館等を経て、現在は文化資源課副課長</p>
<p>むらた あきと</p>		<p>② 過去の実績(調査・展覧会運営・講演会等) H04 シンポジウム「縄文時代後・晩期安行文化」パネラー H12 特別展「発掘された日本列島」展運営(県立博物館) R01 講座「博物館で楽しむための縄文土器入門」講師(さきたま史跡の博物館)</p> <p>③ 著作・研究業績等 H20 「縄文土器の製作」単行本共著(『縄文時代の考古学』7) H31 「1910年代の先史考古学における「系統」と「式」」『縄文時代』30号 R03 「晩期前葉安行式における入組文・三叉文系モチーフの展開」『縄文時代』32号など</p> <p>④ 今年度の取組・抱負・メッセージ 今年度は県庁で文化財保護行政、博物館行政を担当しています。両分野とも法改正が相次ぐなど大きな節目を迎えています。《伝統を未来へ》を旨に、進めていきたいと思っています。個人では縄文土器に見られる地域間の関係や、縄文時代研究そのものの歴史を勉強しています。</p>
	<p>・縄文土器 ・縄文時代研究の 成り立ち</p>	


<p>西口 正純 にしがち まさずみ</p>	<p>弥生時代</p>	<p>① 経歴・職歴 文化財保護課、歴史と民俗の博物館、(財)埋蔵文化財調査事業団等に勤務し、平成30年3月定年退職。 現在は、再任用職員としてさきたま史跡の博物館に所属。</p>
	<p>弥生土器 弥生時代後期</p>	<p>② 過去の業務実績 S57年鍛冶谷・新田口遺跡発掘調査、報告書 H7年中里前原北遺跡発掘調査、報告書 H16「今戸焼」展運営(川の博物館) H17「水辺の宝石」かわせみ展運営、展示図録作成(川の博物館) H24「発掘された木の道具」展運営、展示図録作成(歴史と民俗の博物館)</p> <p>③ 研究業績等 H4「伝児玉町生野山古墳群出土の動物埴輪(鹿)」県立博物館 H19「魚形埴輪」—伝深谷市本田出土— H20「第二展示室の企画展示について」、川の博物館 H21「埼玉古墳群周辺の範囲確認調査」、(分担執筆)「鉄砲山古墳の地中探査実験について」 H25特別展図録「発掘された木の道具」埼玉県立歴史と民俗の博物館 H26『わくわく埼玉県歴史ロマンの旅』(共著)</p> <p>④ メッセージ 資料の利用と展示を担当しています。</p>


佐藤 康二	弥生時代	① 経歴・職歴 川の博物館、平和資料館、歴史と民俗の博物館等を経てさきたま史跡の博物館に勤務しています。
さとう こうじ		② 過去の業務実績 H14「めざめろ古代」展運営(歴史と民俗の博物館)、H21奥の山古墳発掘調査、H23鉄砲山古墳発掘調査等 ③ 研究業績等 H29「伝将軍山古墳出土の朝鮮三国時代伽耶系陶質土器について(共著)」研究紀要10号(さきたま史跡の博物館)他。 ④ メッセージ 特別史跡埼玉古墳群へ是非お越しく下さい。
	弥生時代から古墳時代への移行期に関心があります。	

<p>石坂 俊郎 いしざか としろう</p>	<p>弥生～古墳時代</p>	<p>① 経歴・職歴 (財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団、文化財保護課、文書館、桶川市派遣、嵐山史跡の博物館、さきたま史跡の博物館、生涯学習文化財課、平和資料館、歴史と民俗の博物館、さきたま史跡の博物館、嵐山史跡の博物館そして自然の博物館と転々、R元年度末そこで定年退職後、主任専門員兼学芸員としてR2年度より嵐山史跡の博物館勤務。</p>
	<p>土器・集落</p>	<p>② 過去の業務実績 H17 シンポジウム「東日本における古墳の出現」参加(東日本前方後円墳研究会)</p> <p>③ 研究業績等 H17 「五領遺跡出土土器の今昔」歴史資料館研究紀要27号 歴史資料館 H19 「水辺のスケッチ」金鈴24号 H20・21 「中耕・広面遺跡墳墓群と供献土器」(1)・(2)史跡の博物館紀要2・3号 H29・30・R1～3「屋内祭祀の舞台」・「同」(2)～(5) 史跡の博物館紀要10～14号</p> <p>④ メッセージ サラリーマン人生も終末期段階突入。存在の痕跡を少しでも紙上に足し増しすべく静かな焦燥感に身を焦がす日々。</p> <p>⑤ その他 狭いテーマを執念深く追っかけ中。そうすると、何か見えてくるような気にはなれる。</p>

<p>岩田 明広 いわた あきひろ</p>	<p>考古学理論 弥生～平安時代</p>	<p>① 経歴・職歴 (財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団、兵庫県埋蔵文化財調査事務所、川の博物館、平和資料館、さきたま史跡の博物館、歴史と民俗の博物館、嵐山史跡の博物館勤務等を経て、自然の博物館で勤務しています。</p> <p>② 過去の実績(代表的な特別展・企画展のみを挙げます) H15 特別展「花火―夜空を彩る大輪の華―」(川の博物館) H17 企画展「山碧く里うるわし 唱歌の世界」(埼玉県平和資料館) H30 企画展「越山―上杉謙信侵攻と関東の城―」(嵐山史跡の博物館) R1 企画展「戦国大名は如何にして軍需を調達したか」(嵐山史跡の博物館) R3 企画展「実相 忍びの者」(嵐山史跡の博物館)</p> <p>③ 研究業績等 弥生時代から平安時代の土器・須恵器、古墳、古代から近世の開発史、戦国期の忍びの実態等の著作物があります。</p> <p>④ 今後の取組み 歴史的なできごととその背景と、現在の私たちの考え方や生活のつながりに視点をおいて事業に取り組んでいこうと考えています。</p>
	<p>考古学理論や須恵器制作のほか、戦国期の忍びを研究しています。</p>	


<p>青笹 基史 あおささ もとふみ</p>	<p>古墳時代</p>	<p>① 経歴・職歴 歴史と民俗の博物館・さきたま史跡の博物館の学芸員を経て文化資源課 主事</p>
	<p>古墳副葬矢鏃の生産・流通</p>	<p>② 過去の実績 R01 企画展「徹底解剖！埼玉古墳群～副葬品から探る被葬者像～」運営（さきたま史跡の博物館） 特別史跡指定記念限定ガイドブック『特別史跡 埼玉古墳群』編集（さきたま史跡の博物館） R02 企画展「盾持人埴輪の世界」運営（さきたま史跡の博物館）</p> <p>③ 著作・研究実績・現在、取り組んでいる研究など</p> <p>■ 主な報告・論文 R01「秩父郡小鹿野町下塚居古墳副葬矢鏃の検討」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第12号 R02「伝栃木県出土騎馬人物埴輪の検討-写真・実測図・SfM/MVSによる三次元計測による資料化-」 『埼玉県立史跡の博物館紀要』第13号 R03「秩父郡小鹿野町下塚居古墳副葬玉の検討」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第14号 （報告書）「轡」『島内139号地下式横穴墓Ⅱ』えびの市教育委員会</p> <p>■ 主な口頭発表 H30「後・終末期古墳副葬矢鏃の口巻の装着方法の復元」土曜考古2月例会 R01「古墳時代の神奈川県・東京都・埼玉県域における社会構造と刀剣」第4回古代歴史文化講演会 「埼玉県の形象埴輪配置-埼玉古墳群を中心として-」埴輪研究会第20回大会 R02「特別史跡 埼玉古墳群」令和2年度第1回神川町ふるさと歴史講座</p> <p>④ 今年度の取り組み・抱負・メッセージ 昨年度より史跡・埋蔵文化財担当に赴任しました。古墳時代の副葬品のなかでも鉄製品を中心に勉強しています。</p> <p>⑤ その他 特にありません。</p>


<p>岡本 健一</p>	<p>古墳時代</p>	<p>① 経歴・職歴 (財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団派遣、さきたま資料館(当時)、文化財保護課、民俗文化センター、歴史と民俗の博物館、桶川市教委派遣、生涯学習文化財課、宮城県教委への震災復興支援職員、生涯学習文化財課、さきたま史跡の博物館を経て、現在、歴史と民俗の博物館勤務。</p> <p>② 過去の業務実績 圏央道関係遺跡、埼玉古墳群將軍山古墳整備、熊谷市下田町遺跡、南三陸町新井田館跡等の発掘調査及び調査報告書、H9『さきたまに馬がやってきた』展示等</p> <p>③ 現在取り組んでいる研究 とくに時代を限定せずに、日本と朝鮮半島の文化交流について興味をもっています。</p> <p>④ 今年度の取り組み 博物館に親しみをもってもらえるようなイベントを企画したい。</p>
<p>おかもと けんいち</p> 		


<p>片山 健太郎 かたやま けんたろう</p>	<p>古墳時代</p>	<p>① 経歴・職歴 令和4年度より歴史と民俗の博物館 展示担当学芸員</p>
	<p>金工製品 (馬具など)</p>	<p>② 過去の実績(調査・展覧会運営・講演会等) なし</p> <p>③ 著作・研究業績等 H28「古墳時代馬具における繋の基礎的研究」『史林』99-6 H29「古墳時代馬具における繋の変化とその背景」『考古学研究』64-3 H30「古墳時代の障泥とその系譜」『古文化談叢』81 H30「埼玉県どうまん塚古墳出土遺物の研究」(共著)『鏝情報に基づく戦後復興期消滅古墳副葬品配列の復元研究』など</p> <p>④ 今年度の取組・抱負・メッセージ 令和4年度より埼玉県立歴史と民俗の博物館に赴任しました。古墳時代を中心として埼玉県の先史・原史時代の魅力を伝えていけるよう努めてまいります。</p> <p>⑤ その他 子供が生まれ、子供目線の興味をひく展示の実践を試みたいと思うようになりました。</p>


<p>末木 啓介</p>	<p>古墳時代</p>	<p>① 経歴・職歴 歴史資料館(現嵐山史跡の博物館)、川の博物館、平和資料館、さきたま史跡の博物館、文化資源課などを経て令和4年度から歴史と民俗の博物館に勤務することとなりました。</p>
<p>すえき けいすけ</p>	<p>集落研究</p>	<p>② 過去の業務実績 発掘調査は上里町中堀遺跡など、展示会は川の博物館で「水辺のまつり」、平和資料館で「戦中戦後の鉄道輸送」「戦時中の手紙に見る家族の姿」、嵐山史跡の博物館では「中世黎明」を担当しました。さきたま史跡の博物館では史跡整備担当や展示資料担当を経験しました。</p> <p>③ 研究業績等 古墳時代から平安時代の集落遺跡を研究テーマにしています。最近では平安時代後期の北武蔵の状況について関心を持っています。</p> <p>④ メッセージ 集落遺跡の研究は地味かもしれませんが、当時の社会を知る重要な手がかりが隠されています。そうした点を少しでも明らかにできればと思っています。</p>





<p>田中 正夫</p>	<p>古墳時代</p>	<p>① 経歴・職歴 さきたま資料館、(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団に派遣、文化財保護課、県立博物館、民俗文化センター、歴史と民俗の博物館、さきたま史跡の博物館を経て、歴史と民俗の博物館</p>
<p>たなか まさお</p>		
		<p>② 過去の業務実績 H20「彩の国埼玉 古墳時代の優品」展企画運営(さきたま史跡の博物館)等</p> <p>③ 研究業績等 H2「小沼耕地遺跡」埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第100集 H5「新屋敷遺跡-A区-」埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第140集等</p> <p>④ メッセージ 歴史と民俗の博物館を楽しく学んでいただける場にしたいと思います。</p> <p>⑤ その他 ここ20年来博物館で、環境に配慮した新しい資料保存のシステムである、総合的有害生物管理(IPM)の推進に努めてきました。</p>

<p>中井 歩 なかい あゆみ</p>	<p>古墳時代</p>	<p>① 経歴・職歴 H28～さきたま史跡の博物館史跡整備担当学芸員、H31～文化資源課史跡・埋蔵文化財担当、R04～さきたま史跡の博物館資料・展示担当学芸員</p>
	<p>日本列島における銅鏡の生産と流通</p>	<p>② 過去の実績 H28～H30 埼玉古墳群発掘調査(鉄砲山古墳、二子山古墳、奥の山古墳) H29 さきたま講座「古墳時代の銅鏡について」 H30第7回ミュージアムフォーラム「水と銅鏡—映し出される古墳時代の世界—」</p> <p>③ 研究業績等</p> <p>■報告・論文 H30「紫金山古墳出土勾玉文鏡のモデルと生成過程」『古文化談叢』80 H30「古墳時代前期における小型鏡の系譜と変遷—重圏文鏡・珠文鏡を対象として—」 『埼玉県立史跡の博物館紀要』第11号 H31「《速報》二子山古墳墳丘造出しの調査について—平成29年度発掘調査成果を中心として—」 『埼玉県立史跡の博物館紀要』第12号 R03「埼玉県内における古墳時代前期の銅鏡について—重圏文鏡と珠文鏡を中心に—」 『持続する志 岩永省三先生退職記念論文集』</p> <p>■口頭発表 H24 The creation of Japanese bronze mirrors : The study of the Magatamamon mirror found at Shikinzan Kofun, The 5th World Conference of the Society of East Asian Archaeology H29「古墳時代前期における小型鏡の意義—出土状況の検討から—」『平成29年度九州史学会』 R03「埼玉古墳群の墳丘造出しについて—二子山古墳の調査成果を中心に—」『2021年度九州史学会』</p> <p>④ メッセージ 古墳時代の銅鏡について研究しています。特に直径10cm以下の小さな鏡が好きです。博物館にひっそりと展示されていることも多いので、ぜひ見つけてみてください。</p>


ナワビ 矢麻	古墳・古代	① 経歴・職歴 H31年度～現在 さきたま史跡の博物館 史跡整備担当
なわび やま		② 過去の業務実績 H31年度 『特別史跡埼玉古墳群 鉄砲山古墳 発掘調査報告書』(分担)
	デジタル技術を用いた考古学的研究・シルクロードの古代寺院	③ 著作・研究実績等 (論文等) H28「A Non-Destructive Method for Archaeological Research using Ground Penetrating Radar: A Case Study in Chiba Prefecture, Japan」『WASEDA RILAS JOURNAL』No.4 H31「富岡重憲コレクションの伝図浮彫に関する基礎的研究」『早稲田大学會津八一記念博物館』20号(共著) R1「《速報》平成30年度奥の山古墳発掘調査成果報告-外堀南西隅角部の発掘調査について-」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第13号 R1「UAVを用いた埼玉古墳群の測量について」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第13号 R2「特別史跡 埼玉古墳群の保存と活用：古墳群の史跡整備」『月刊文化財』680号 R2「館蔵考古資料3次元モデルの作成と公開について」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第14号(発表等) H31「京焼登り窯の三次元測量①-石黒宗麿窯の事例-」『日本文化財科学会 第36回大会』(共同) R2「京焼登り窯の三次元測量②-上田恒次窯の事例-」『日本文化財科学会 第37回大会』(共同) R3「京焼登り窯の三次元測量③-河井寛次郎窯の事例-」『日本文化財科学会 第38回大会』(共同) R3「特別史跡・埼玉古墳群におけるGPR探査の実践と可能性」『オンライン講演会 地中レーダによる遺跡調査』 ④ メッセージ 日本を含めた東アジア～シルクロードの仏教寺院に関心があります。古墳・寺院などの非破壊調査や三次元情報の記録など、デジタル技術を用いた調査研究にも取り組んでいます。これからも史跡・博物館の魅力を発信していきます。


山田 琴子	古墳時代	① 経歴・職歴 生涯学習文化財課埋蔵文化財担当、さきたま史跡の博物館史跡整備担当、さきたま史跡の博物館資料・
やまだ ことこ		展示担当、歴史と民俗の博物館学習支援担当
	古墳時代の鉄製甲冑の製作技術	③ 研究業績等 報告書・論文等 H17「金古如来古墳群」群馬町教育委員会 H21,24「益子天王塚古墳出土遺物の研究」早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要 H22「巢鴨町遺跡」、「染井遺跡」豊島区教育委員会 H23「巢鴨遺跡」豊島区教育委員会 H29「将軍山古墳の新発見資料について」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第10号 H30「小鹿野町小鹿野小学校出土の鉄銚について」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第11号 H30「4 玉作り技術の展開-東日本の玉作り-」『玉 -古代を彩る至宝-』古代歴史文化協議会編 H31「手工業生産から見た埼玉県の古墳時代」『第24回 東北・関東前方後円墳研究会発表要旨』東北・関東前方後円墳研究会 R01『特別史跡埼玉古墳群 鉄砲山古墳発掘調査報告書』埼玉県教育委員会 R01「第3章第3節武具」『入西石塚古墳出土遺物整理報告書』坂戸市教育委員会 R02「小針型坏と埼玉古墳群」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第14号 展示 R02『最新出土品展 地中からのメッセージ』（さきたま史跡の博物館） R03『企画展 「運ぶ-埼玉古墳群とモノの動き-」』（さきたま史跡の博物館） 講演等 R01 「第22回企画展記念講演 東日本の玉作りー古墳時代前期を中心にー」土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場 R02 「発表①鉄砲山古墳を掘る」『報告書刊行記念シンポジウム 鉄砲山古墳を掘る』さきたま史跡の博物館 R03 「趣旨説明」、「討論」企画展関連シンポジウム『埼玉古墳群とモノの動き』さきたま史跡の博物館 ④ メッセージ 令和4年度より歴史と民俗の博物館の学習支援担当として、ゆめ・体験ひろばでの体験メニューや出前授業を行っています。


<p>吉田 修太郎 よしだ しゅうたろう</p>	<p>古代</p>	<p>① 経歴・職歴 新規採用</p>
	<p>官衙</p>	<p>② 過去の実績(調査・展覧会運営・講演会等) なし</p> <p>③ 著作・研究業績等 H25「蝦夷の朝貢と宮都」『都市形成と異文化交流』 H26「城司制の再検討」『史叢』91号 H27「古代雄勝城の成立とその歴史的展開」『史叢』92号 H31「伊治公皆麻呂の乱と東北政策の転換」『宮城考古学』21号 R3「藤原仲麻呂政権下の東北政策」『岩手考古学』32号</p> <p>④ 今年度の取組・抱負・メッセージ 今年度は埼玉古墳群の史跡整備を担当します。埼玉県がほこる貴重な史跡に携わることができる喜びを感じながら、日々の業務を行っていきたいと思います。個人的には古代の武蔵国と埼玉古墳群について勉強・研究していきたいと思っています。</p>

<p>宮原 正樹 みやはら まさき</p>	<p>古代 (飛鳥・奈良・平安)</p>	<p>①経歴・職歴 平成27年度採用、県立歴史と民俗の博物館学芸員、生涯学習文化財課、文化資源課を経て、さきたま史跡の博物館史跡整備担当</p>
	<p>古代瓦、古代寺院、国分寺</p>	<p>②過去の業務実績 H28特別展「高麗郡1300年—物と語り—」(歴史と民俗の博物館) H28企画展「縄文の空間—暮らしと願い—」(歴史と民俗の博物館) H28歴史民俗講座「瓦からみた埼玉の古代寺院」(歴史と民俗の博物館)</p> <p>③研究業績等 H27「九世紀武蔵国における造瓦体制—模骨文字瓦の生産とその背景—」『国土館史学』第20号 H28「瓦からみた古代高麗郡」『特別展高麗郡1300年 展示図録』(歴史と民俗の博物館) R1「東金子窯跡群」『古代東国の国分寺瓦窯 古代東国の考古学5』高志書院 R1「武蔵国分寺創建瓦の生産」『南比企窯・東金子窯と武蔵国分寺の瓦2』古代の入間を考える会 R2「東国の飛鳥時代の瓦」『古代東国の考古学6』高志書院</p> <p>④メッセージ 特別史跡埼玉古墳群の整備・発掘調査を担当しています。個人研究では、国分寺創建期以降、平安時代までの古代の瓦をテーマとしています。関東で唯一国分寺の無い埼玉県ですが、国分寺の葺を飾った瓦を生産した窯跡や関東屈指の古代寺院など素晴らしい古瓦が出土する遺跡がたくさんあります。さまざまな場面で瓦の魅力を届けたいと思っています。</p>

<p>水口 由紀子 みずぐち ゆきこ</p>	<p>古代・中世</p>	<p>①経歴・職歴 歴史資料館、歴史と民俗の博物館、生涯学習文化財課埋蔵文化財担当、さきたま史跡の博物館、嵐山史跡の博物館、歴史と民俗の博物館を経て、令和4年4月からさきたま史跡の博物館資料・展示担当。</p>
	<p>考古学の手法で中世成立期(平安時代から鎌倉時代)について研究しています。</p>	<p>②過去の業務実績(特別展の企画・運営・図録執筆) H17 県立博物館特別展「由来伝来・名刀の一千年」 H18 歴史と民俗の博物館特別展「誕生武蔵武士」 H26 さきたま史跡の博物館企画展「ハニワの世界」 H27 さきたま史跡の博物館企画展「古墳の終焉と律令時代の幕開け」</p> <p>③研究業績等 H16 「埋経遺跡が語る十二世紀の南関東」『中世東国の世界2』所収(高志書院刊) H20 「武蔵武士と経塚」『東国武士と中世寺院』所収(高志書院刊) H20 「東松山市利仁神社経塚」歴史と民俗の博物館紀要第3号 H28 「根岸武香と利仁神社経塚」埼玉県立史跡の博物館紀要第9号 H28 「武蔵・下野の土器」『中世武士と土器(かわらけ)』(高志書院刊) H29 「平沢寺跡出土経筒の銘文について」埼玉県立史跡の博物館紀要第10号 H30 「旧長瀬総合博物館から寄贈された和同開珎について」埼玉県立史跡の博物館紀要第11号 H31 「板橋宿飯田家に伝来した土師器について」埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要第13号 R1 「東松山市利仁神社経塚出土瓦製経筒について」埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要第14号</p> <p>④メッセージ 「埼玉再発見」ができるように、さまざまな事業を通して埼玉県の歴史について皆様に情報発信していきますのでよろしくお願いします。</p>

<p>栗岡 眞理子 くりおか まりこ</p>	<p>中世</p>	<p>① 経歴・職歴 歴史資料館、嵐山史跡の博物館、生涯学習文化財課埋蔵文化財担当、文化資源課指定文化財担当、さきたま史跡の博物館で勤務。現在は、さきたま史跡の博物館と嵐山史跡の博物館で勤務。</p>
	<p>五輪塔や宝篋印塔などの中世に作られた石造物</p>	<p>② 過去の業務実績 埼玉県中世石造遺物調査、企画展「戦国の城」、企画展「中世の館と城」、企画展「中世 合戦と災害」</p> <p>③ 著作・研究実績等 『埼玉県中世石造遺物調査報告書』、「埼玉県の中世五輪塔編年案」(歴史資料館『研究紀要』第23号)、「埼玉県の中世宝篋印塔の変遷について」(歴史資料館『研究紀要』第24号)、「菅谷館跡出土遺物の再検討」(歴史資料館『研究紀要』第25号)、「埼玉古墳群内に所在する石塔群」(埼玉県立史跡の博物館紀要第14号)等</p> <p>④ メッセージ 合戦の時代「中世」に作られた五輪塔や宝篋印塔などの石造物について研究しています。石造物の研究から、戦乱の世の中に生きていた人々の精神世界に少しでも、触れていくことができればと思っています。</p>

堀口 智彦	中世	<p>① 経歴・職歴 さきたま史跡の博物館史跡整備担当、生涯学習文化財課埋蔵文化財担当、福島県教育庁文化財課派遣を経て、歴史と民俗の博物館展示担当学芸員。</p>
ほりぐち ともひこ		
	中世土器の生産と流通や中世城館	<p>② 過去の業務実績 H26 鉄砲山古墳発掘調査(さきたま史跡の博物館) H30 企画展「埼玉の官衙—律令時代の“お役所”—」運営(歴史と民俗の博物館) R1 企画展「縄文時代のたべもの事情」運営(歴史と民俗の博物館) R3 特別展「埼玉考古50選」運営(歴史と民俗の博物館)</p> <p>③ 研究業績等 H26 「平成25年度 埼玉古墳群範囲確認調査の報告」史跡の博物館研究紀要第8号 H29 『東日本大震災復興関連遺跡調査報告5』</p> <p>④ メッセージ 今年度は、特別展「発掘された日本列島2022」を主に担当します。常設展示室の展示と合わせ、埼玉県 の遺跡や遺物の特色をわかりやすく伝えられるように心がけます。</p>

中島 萌	専門分野	① 経歴・職歴 採用2年目
なかじま もえ		② 過去の業務実績 なし ③ 著作・研究実績等 なし ④ メッセージ 博物館での仕事は初めてですが、来館者の方に楽しんでいただけるような展示や広報に取り組んでいきたいです。
	近世考古学	